

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

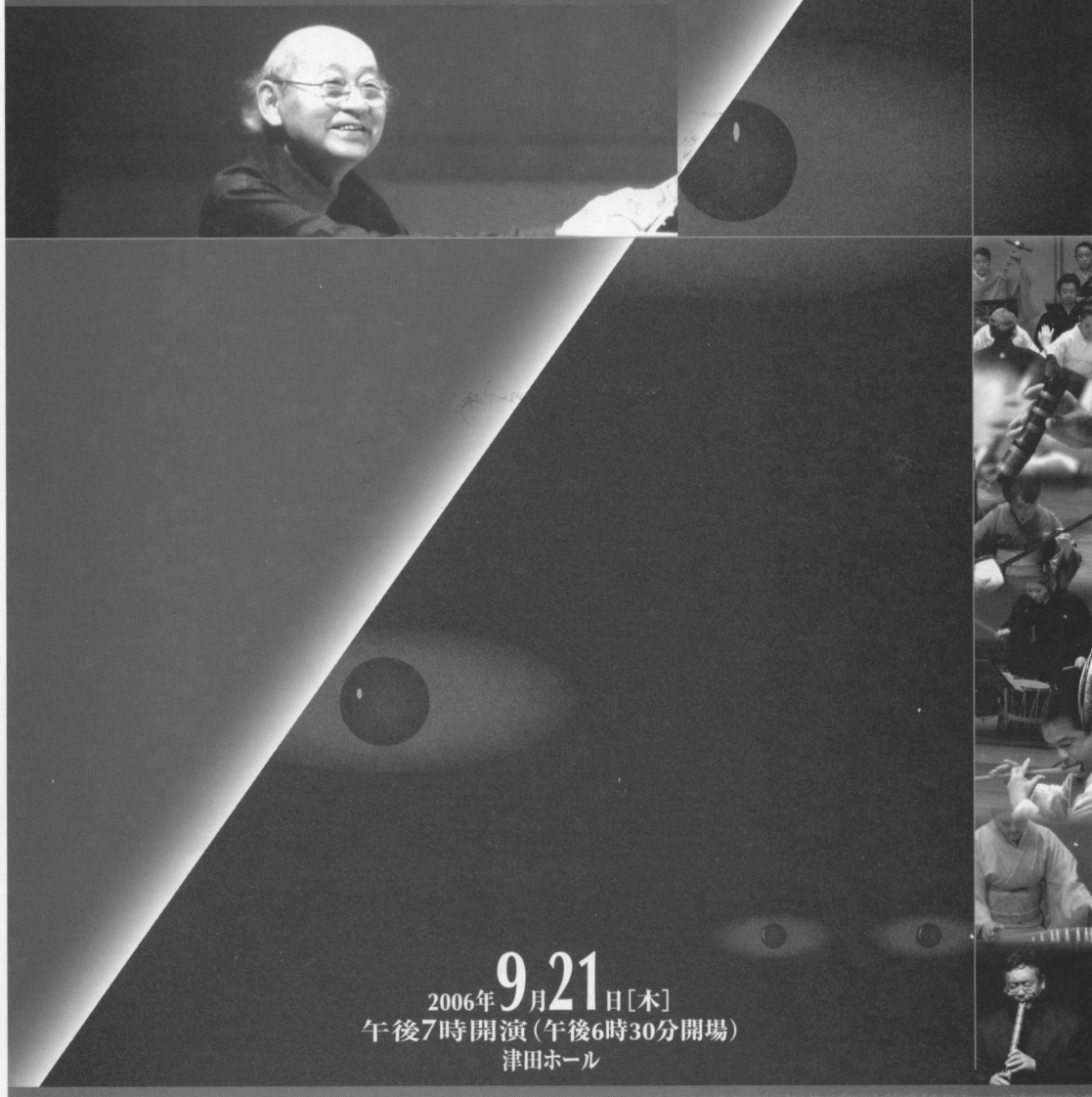


第184回定期演奏会
The 184th Regular Concert

コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅧ

林光氏からのメッセージ

Composer's Project Series Ⅷ: message from HAYASHI, Hikaru



2006年 9月21日[木]
午後7時開演(午後6時30分開場)
津田ホール

：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
：助成：平成18年度文化庁芸術創造活動重点支援事業
■日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail office@promusica.or.jp



プログラム

一、花鳥図譜 (1982年)/林光作曲

HAYASHI Hikaru : Flowers and Birds, a Picture Scroll

[笛] 西川浩平

[打楽器] 多田恵子

二、トリオ・コンチェルト (1990年)/林光作曲

HAYASHI Hikaru : Trio Concerto

[尺八] 米澤浩

[三味線] 杵家七三

[箏] 桜井智永

三、宮澤賢治詞華集 (邦楽器版初演)/林光作曲

HAYASHI Hikaru : Kenjiana, collected poems of MIYAZAWA Kenji

[尺八] 竹井誠

[三味線] 杵家七三

[箏] 早川智子 [十七絃] 久本桂子

[打楽器] 島村聖香

[歌] 竹田恵子 (客演)

[指揮] 林光 (客演)

休憩・・・・・・・・・・

四、闇市案内図 (2006年) 委嘱・初演/鷹羽 弘晃作曲

TAKAHA, Hiroaki : The guide to the black market

[筆筈] 本橋文 (助演)

[尺八] I 原郷隆 II 渡辺淳

[三味線] 簗田弘大 [琵琶] 細川華鶴子

[箏] I 熊沢栄利子 II 三宅礼子

[打楽器] 高橋明邦、島村聖香

[指揮] 鷹羽弘晃 (客演)

五、劇的モノローグ「駈込み訴え」

(2006年) 委嘱・初演/太宰治原作、山元清多台本、林光作曲

HAYASHI Hikaru : Theatrical Monologue, "The Direct Appeal"

[笙] 真鍋尚之 [筆筈] 本橋文 (助演)

[尺八] I 米澤浩 II 阪口夕山

[三味線] 工藤哲子 [琵琶] 首藤久美子

[箏] 熊沢栄利子 [十七絃] 久本桂子

[打楽器] 望月太喜之丞、多田恵子

[歌] 谷篤 (客演)

[指揮] 寺嶋陸也 (客演)

花鳥図譜

1982年、赤尾三千子委嘱により作曲、5月14日、赤尾さんのリサイタルで初演された。共演は山口恭範さん。

「梁塵秘抄」を思わせる風景のなかで、野の花の精が遊んでいる、といったようなイメージ。

トリオ・コンチェルト

「邦楽四人の会」の委嘱により作曲。1990年3月5日に初演された。

短い断片が、ソロ、デュオ、トリオと、気まぐれ的な編成の交代で演奏される、バロック・コンチェルト（音楽史の様式と、アレッホ・カルペンティエールの同名の幻想小説と、両方の意味での）風味。

宮澤賢治詞華集

- 1 高原
- 2 あまのがわ
- 3 若い柏の木と柏の木大王の歌（「かしわばやしの夜」より）
- 4 お日さんに（「鹿おどりのはじまり」より）
- 5 岩手軽便鉄道一月

1980年代に作曲した、宮澤賢治の詩によるソング（「高原」は70年代）を、歌パートはそのままに、日本楽器のためにこのたび書き直した。

もともとあったピアノ伴奏部分をそのまま移しかえるより、日本楽器、とくに絃楽器の性質にそったべつの音重ねを試みた、つもりである。

劇的モノローグ「駈込み訴え」

太宰治のさいしょの全集（八雲書店版）は、生前（まだ30歳代!）発刊されていて、白地に黒と赤でデザインされたその全集本で、中学生のわたしははじめて太宰の文学を知った。その頃から「走れメロス」よりも「駈込み訴え」のほうを、わたしは断然好きだった。

きょうのソリスト、谷篤さんの求めに応じて作曲した、声と打楽器のための旧稿「〈駈込み訴え〉による断章」を下敷きにして、今回の「劇的モノローグ〈駈込み訴え〉」はつくられている。

闇市案内図

鷹羽 弘晃

「闇市」— この言葉の持つ質感にすごく惹かれる。

これは空想の闇市を訪ねた私の紀行である。そこは、まさにフェュージョナルな場であり、あらゆる事象が生まれたり消えたりしている。今回ようやく、入り口に達し、一步足を踏み込んだところだ。深淵へ、今後も旅をつづけていく。

私の初めての邦楽器のための作品が憧れの「日本音楽集団」への曲になろうとは夢にも思っていなかった。こんなに贅沢で幸せなことはない。

鷹羽 弘晃(たかは ひろあき) [作曲] プロフィール



2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。作曲を三瀬和朗、権代敦彦の各氏に師事。1999年、弦楽六重奏のための「サーキット」が第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。2003年「otoの会 新作初演コンサート」では、自作を含む全曲初演ピアノ・リサイタルを行った。主な作品に、歌曲「ことのはひらひら」(「新しい歌を創る会」委嘱)、声楽アンサンブルのための「あらべすく-京極為兼讃」(「創る会」初演)などがある。現在桐朋女子高等学校音楽科(共学)教諭及び桐朋学園大学音楽科非常勤講師。

竹田恵子(たけだ けいこ) [歌] プロフィール



1974年～2004年5月、オペラシアターこんにゃく座に所属。代表など務める。オペラの新たなスタイルの創出と、歌役者のあり方を模索。故・宮川睦子氏が創出した「こんにゃく体操」にも長年取り組み、表現の土台づくりの場としての同体操の普及を実践してきた。CDも多く「私が歌う理由・赤電車」「竹田恵子プレヒト・ソングを歌う」はレコード芸術誌特選。最新盤に「竹田恵子コンサート/オペラひとり切り」がある。

谷 篤(たにあつし) [バリトン] プロフィール



東京芸術大学声楽科卒。同大学院修士修了。日・仏・独・伊・露の歌曲を広くレパートリーとし、歌曲演奏者として活動、邦人作品の初演も数多い。バリトンからカウンターテナーの音域を歌い、その表現力は高い評価を得ている。「歌の行方」「うみたてたまごうた」「ひとときの歌」企画主宰。語り手として「イノック・アーデン」「兵士の物語」翻訳、公演。NHKラジオ「武満徹エッセイ集」朗読。東京芸術大学音楽学部非常勤講師。

寺嶋陸也(てらしまりくや) [指揮] プロフィール



東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修士課程修了。作曲とピアノ演奏の両面で積極的に活動、2003年バリ日本文化会館における作品個展「東洋と西洋の出会い」などは高く評価された。オペラや室内楽曲など作品多数。CD「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD-9026)ほか、室内楽や歌曲の伴奏など、多くのCDがある。

ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

邦楽器をもちいた作曲の少ない私が、ひと晩のプログラムを組むことができるかと、おおいにためらったが、古くからの友人田村拓男さんを介しての、日本音楽集団の、再三にわたる好意ある勧めを受けるに及んで・ロードス島に、ではなかった清水の舞台に立つ決心をした。

邦楽器の曲が少ない、とは、ある種の婉曲話法であって、4歳から西洋音楽を空気のように吸って育った私は、本質的に邦楽器への適正を欠いているのじゃあないだろうか、しばしば自問しながら作曲してきたというのが、正直なところである。

世の中の、フルートやヴァイオリンや、またピアノに対するのとまるで変りない身軽さで、即座に邦楽器とたわむれることができる作曲家たちにはいつも驚嘆するばかりだ。

すなわち、異人があやつるニホン語といったおもむきが、きょう聴いていただく私の音楽にはあると、自分では思っている。

とはいえ、異人があやつろうともニホン語はニホン語であるように、私のメッセージにも、どれだけか聴かれるべきものが潜んでいるであろう。それを聴きとっていただけるなら幸いだ。

また、ことしの春まで3年間、桐朋音大で同僚であった鷹羽弘晃さんに、招待作品の作曲を引きうけていただけたことも、嬉しい。

初顔合わせの日本音楽集団の皆さん、また仕事仲間の竹田恵子さん、谷篤さん、寺嶋陸也さん、そしておでかけくださった聴衆の皆さんにも、心から感謝。



二千六年九月二十一日
林 光

林光プロフィール

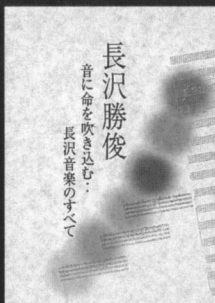
1931年東京生まれ。東京芸術大学作曲科中退。尾高尚忠、池内友次郎両氏に師事。53年間宮芳生、外山雄三らと「山羊の会」を結成。同年、「交響曲ト調」により芸術祭賞、56年「オーケストラのための変奏曲」により第四回尾高賞、61年映画「裸の島」(新藤兼人監督)により第二回モスクワ映画祭作曲賞を受賞。オペラシアターこんにゃく座芸術監督として日本の小劇場オペラ運動を推進。99年オペラ「吾輩は猫である」(1998)をはじめとするこんにゃく座のオペラ作品により第三十回サントリー音楽賞を受賞。オペラ作品として、「あまんじゅくとうりこ姫」「おこんじょうり」「白墨の輪」「セロ弾きのゴーシュ」「森は生きている」「変身」「犬の仇討ちあるいは吉良の決断」「花のラ・マンチャ騎士道あるいはドン・キホーテ最後の決断」など。また、合唱曲「原爆小景」(2000年完結)、カンタータ「脱出」などの合唱曲と声楽曲、「第三交響曲<八月の正午に太陽は…>」「ヴィオラ協奏曲<悲歌>」(1996年第四十四回尾高賞)などの器楽曲も多数。他方俳優座、黒テン他と共働した音楽劇、そして映画音楽、宮沢賢治やブレヒトの歌曲など。著書「私の戦後音楽史」(平凡社)、「作曲家の道具箱」(一ツ橋書房)他多数。

邦楽器のための、または邦楽器を含む作品リスト

- 1969 緯 1番
二十絃、fl、cor、b-cl、cb 単一楽章10'00" 未出版 初'69.11.7.
- 1971 緯 2番
二十絃、fl、ob、vc、cb 単一楽章10'00" 未出版 初'71.2.20.(公開録音)
- 1982 花鳥図譜
篠笛、perc 単一楽章6'00" 未出版 初'82.5.14.
- 1983 春日協奏
尺八、歌、pf 単一楽章(不確定譜)10'~15'未出版 初'83.8.11.
- 1983 フモレスケ
十七絃箏、sop、mezzo-sop、alt 朗読(詩・石垣りん)17'00" 未出版 初'83.11.14.
- 1986 ソロ・コンチェルト
十三絃箏 2楽章6'00" 未出版 初'86.12.16.
- 1989 種子(たね)は旅する
篠笛、vn、vc、 単一楽章6'00" 未出版 初'89.6.9.
- 1990 トリオ・コンチェルト
尺八、三絃、十三絃箏 10'00" 未出版 初'90.3.5.
- 1993 おきなぐさ
十三絃箏 2楽章7'00" 未出版 初'93.11.25.

長沢勝俊

音に命を吹き込む・
長沢音楽のすべて



日本音楽集団の西川浩平、水川寿也、宮越圭子の対話者が、“長沢ブシ”の魅力を訪ね、長沢勝俊の音楽人生について語る。

長沢と共に歩んだ方々の貴重なメッセージを収録。また、作品年表も掲載。 A5判 定価700円

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。

募集の詳細はチラシをご参照ください。

【賛助会員】五十音順

法人

(株)全音楽譜出版社

(株)宮本卯之助商店

NPOトリトン・アーツ・ネットワーク

個人

青柳 堯
新井 克輔
安堂 智浄
飯塚 吉正
伊藤 美恵
今村 厚子

江大 西関 緑
太田 富枝
川塚 颯衣
川壁 悦子
岸 彰正
後藤 藤陽

四反田 素幸
杉田 和繁
関井 厚雄
土井 惠見
中島 靖子
浜田 靖子
古川 羽衣

本水 田野 実
渡野 正徳
渡辺 邦治

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp/> E-Mail office@promusica.or.jp

料愉
にしむ

和楽器 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792)8437
E-mail : tokyo@kinko-do.com